



市議会議員  
砂田喜昭  
Tel. 67-4322



参議院議員  
井上哲士

衆議院議員  
笠井あきら

地方政治と住民運動  
の専門誌

議会と  
自治体

禁無断転載  
複写配布

# TPPは「1%」の利益のため 大多数の国民を不幸にする

## シンポジウム「このまま進めて大丈夫なの？ TPP交渉」

シンポジウム「このまま進めて大丈夫なの？ TPP交渉」が東京・文京シビックホールで開かれ、砂田市議が参加しました。シンポジウムを主催したのは「TPP参加交渉からの即時脱退を求める大学教員の会」「TPPに反対する弁護士ネットワーク」「主婦連合会」です。



400名の参加で開かれたTPP反対のシンポジウム=9月14日、東京・文京シビックホール。(写真は「しんぶん赤旗」9月15日付より)

## 主婦連 「長年の消費者運動で勝ち取った 食品の安全、環境保護の規制を壊す」

主催者あいさつに  
を台無しにする制度です。  
たつた主婦連合会  
事務局長の佐野真理子さ  
んは「消費者保護制度は市  
民運動が長年の努力を重  
ねて勝ち取ったもの。これ  
をTPPによって規制緩和で壊  
してよいものか。」と訴えま  
した。パネリストとして発言  
した主婦連合会会長の山  
根香織さんも、「TPPは、  
これまで消費者運動・市民  
運動などが勝ち取ってきた  
あらゆる制度導入の成果

## 医師会 「お金のない人は先進医療を受けられなくなる」 保険診療と保険外診療の併用＝混合診療の全面解禁

「TPPと医療」と題して特別ス  
ピーチしたのは、日本医師会副会  
長の中川俊男さんです。  
「日本の医療制度が優れているのは、  
次の3本柱があるから。① 国民皆保険  
制度、② フリーアクセスの医者にで  
も、誰もが、いつでもかかれる、③ 現物  
給付(保険証1枚で、一部負担金を払え  
ば医者にかかれる)。」  
「安倍首相は国民皆保険制度を守る  
と謳っているが、二本柱の①だけではだ  
めだ。国民皆保険を守ることは『① 公  
的保険の範囲を維持すること。② 混合  
診療を認めないこと。③ 営利産業化  
を防ぐこと』でないと守れない。ところが  
7月26日、政府の『規制改革会議』は、  
当面の優先案件の一つに『保険診療と保  
険外診療の併用療養制度、つまり混合  
診療の全面解禁』を挙げた。混合診療の  
全面解禁とは、保険適用診療に上乗せ  
して保険外診療をできるようにするこ  
とで、医療を金もつけの手段にすること  
だ。お金のない人は先進的な高度な医  
療を受けられなくなる。」

## 十勝町村会長・農協

### 「輸出で農業が勝てる」などは幻想だ

北海道・十勝の取り組  
みを紹介したのは、十勝  
町村会長で本別町長の高  
橋正夫さんです。  
「十勝では一農家の耕作  
地は40〜50ha。130  
年かけてここまでやってき  
た。政府やマスコミなどか  
ら農家の努力が足りないとい  
われるが、机上の空論だ。」  
「TPPで強い農業をつくる  
という意見もある。農業も輸  
出で生き残れるなどと、十勝  
の長芋を例に持ち出されてい  
るが、現実を知らないものだ。  
長芋の輸出額は6億円だが、

## 「企業利益の拡大に邪魔なルールを 壊すのがTPP」

### 鈴木宜弘東大教授

東京大学の鈴木宜弘教  
授は、「TPPの本質は  
『1%』の利益のために『9  
9%』を犠牲にして構わ  
ないというものだ。企業  
利益の拡大に邪魔なルー  
ルや仕組みは徹底的に壊  
す、または都合のいいように変  
えるのがTPPだ。米国の巨大  
企業中心の『1%の、1%によ  
る、1%のための』協定で、大多  
数の国民を不幸にする。TPP  
に反対する人たちが『既得権  
益を守るために規制緩和に抵  
抗している』という攻撃も常套  
手段だが、それこそ『自分だ  
け、今だけ、金だけ』しか見え  
ぬ人たちが市場を奪うために  
仕組んだ策略だ。」とユーモア  
を交えて訴えました。

## 「世界の市民団体とのネット ワークで秘密交渉を突き崩そう」

### アジア太平洋資料センター

アジア太平洋資料セン  
ター事務局長の内田聖  
子さんは、「日本にとって  
早期妥結は『最悪中の最  
悪のシナリオ』。日本政府  
は米国の早期妥結に対  
し、どの国よりも柔軟で  
ある。政府も交渉官にも  
危機感がまったくない。  
交渉の秘密性をどう突  
き崩すが大きな課題。  
世界の市民団体とのネット  
ワークが重要だ。  
日本がなぜ不利な交渉に